

水洗塗料 廃液処理剤 凝集分離剤



廃液凝集分離の場合

1. 塗装時の洗浄排水の処理が簡単にできます。
2. 廃塗料（水性）が短時間に固化します。
3. 取り扱いが簡単です。

用途

1. 水性塗料の洗浄排水の処理。
2. 水性廃塗料の固化など。

洗浄排水の処理方法

1. 水性塗料溶水を20Lに対して「ぶんり〜ノ」を2~4杯(30g~60g)添加してください。なお、添加量は塗料濃度の種類により異なります。
2. エアーないしはスクリューなどを使用し、攪拌してください。
3. 凝固物は水中で分離した状態になります。
4. 凝固物は、洗浄機などに付随しているフィルターなどを使い濾過して下さい。
5. 凝固物は、ビニール袋などに入れ産業廃棄物として専門業者に処理を依頼してください。

注意事項

廃液凝集分離の場合

- 濃度の高い廃液の場合は、さらに希釈するか、添加剤を増やすことが必要です。
- 濃度は、できるだけ薄いほど効果を発揮します。
- 添加量が不足していると、上澄み液が濁ります。「ぶんり〜ノ」をさらに追加添加してください。
- 塗料の種類により、凝集しにくい場合があるので、事前に少量で確認してください。(カチオン系樹膜など)

固化の場合

- 添加後、粘度が上昇し、おおきな抵抗が出てくるので、十分に固定して攪拌してください。
- 塗料の種類により、固化の状態が異なります。

排水処理

- 水質汚濁防止法、河川法、下水道法など地方条例に従って処理してください。

Shinyu 進勇商事株式会社
OSAKA JAPAN



〒553-0002 大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
TEL (06) 6451-8543 FAX (06) 6451-8541
〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目13番7号
TEL (06) 6458-4501 (商品・修理センター)
URL <http://www.shinyusan.com/>
E-MAIL: s-mail@shinyusan.com
携帯URL <http://www.shinyusan.com/m/>



揮発性有機化合物の発生を抑えた大豆油インキを使用し、印刷は有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。

N317205 08-04-3Y10E